

# 2018年(平成30年)3月期 第2四半期 決算概要

長瀬産業株式会社  
2017年11月2日

## 目次

連結損益計算書	3
地域(国内・海外)別売上高	4
セグメント別売上高 2期比較	5
セグメント別営業利益 2期比較	6
連結貸借対照表	7
連結キャッシュ・フロー	8
2018年3月期 業績見通し	9

## 第2四半期連結累計期間において、売上高・各利益ともに過去最高を更新

- 売上高：全セグメントともに好調に推移したことに加え、円安の影響等もあり、全体として増収
- 営業利益：事業収益の伸長に加え、退職給付会計における数理計算上の差異の償却額が減少し、増益

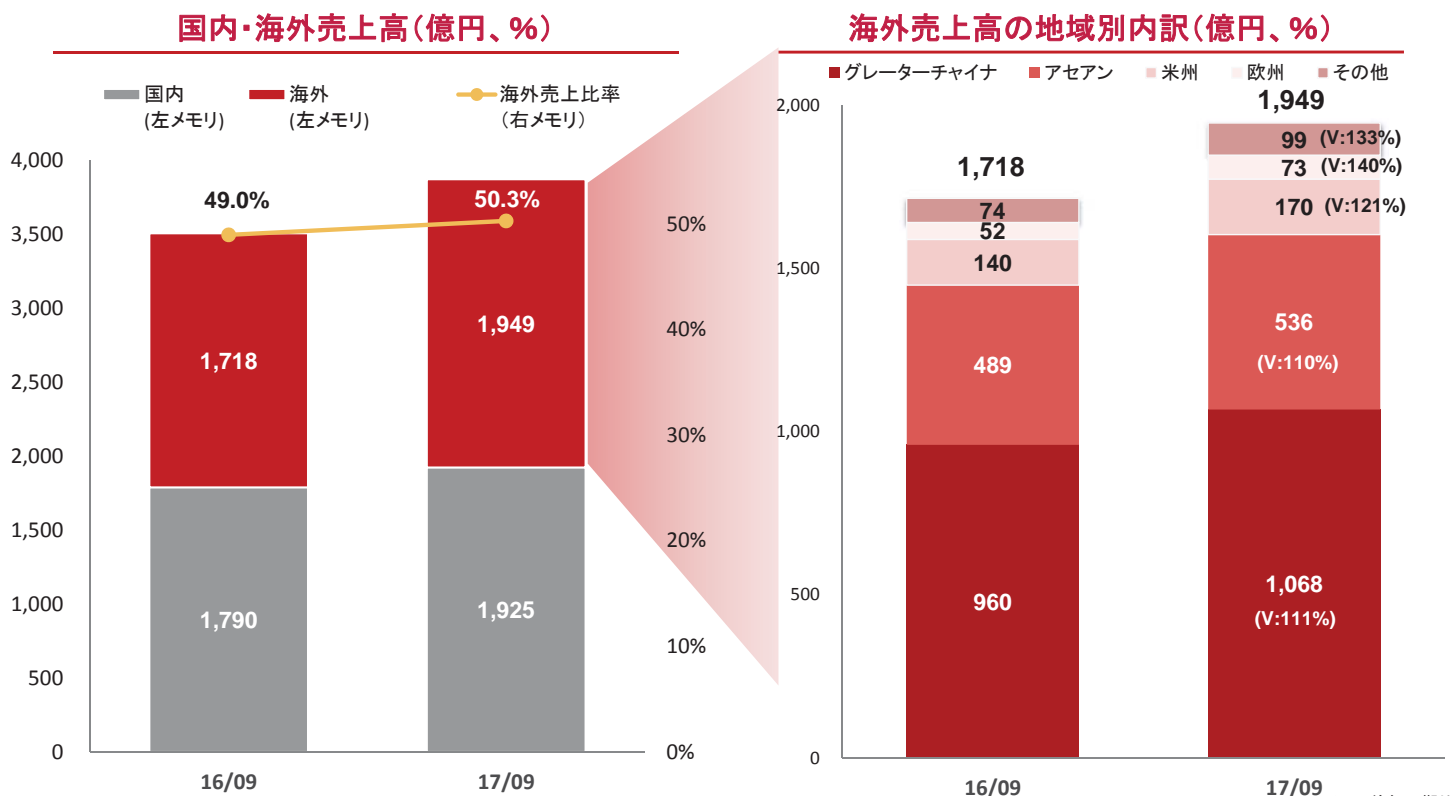
(単位:億円)

	16/09	17/09	増減額	前年同期比	通期見通し (期初公表)
売上高	3,508	3,875	+366	110%	7,320
売上総利益	446	502	+55	112%	950
<利益率>	12.7%	13.0%	+0.2%	—	13.0%
販売費及び 一般管理費	374	376	+1	100%	759
営業利益	72	126	+53	174%	191
経常利益	74	138	+63	184%	209
親会社株主に帰属する 四半期純利益	46	87	+40	187%	125
US\$レート (期中平均)	@105.3	@111.0	@5.8円安		@108
RMBレート (期中平均)	@15.9	@16.4	@0.5円安		@15.6

【為替変動による17/09期実績 売上高および営業利益への影響額】  
 売上高:約+100億円      営業利益:約+2.8億円

## 地域(国内・海外)別売上高

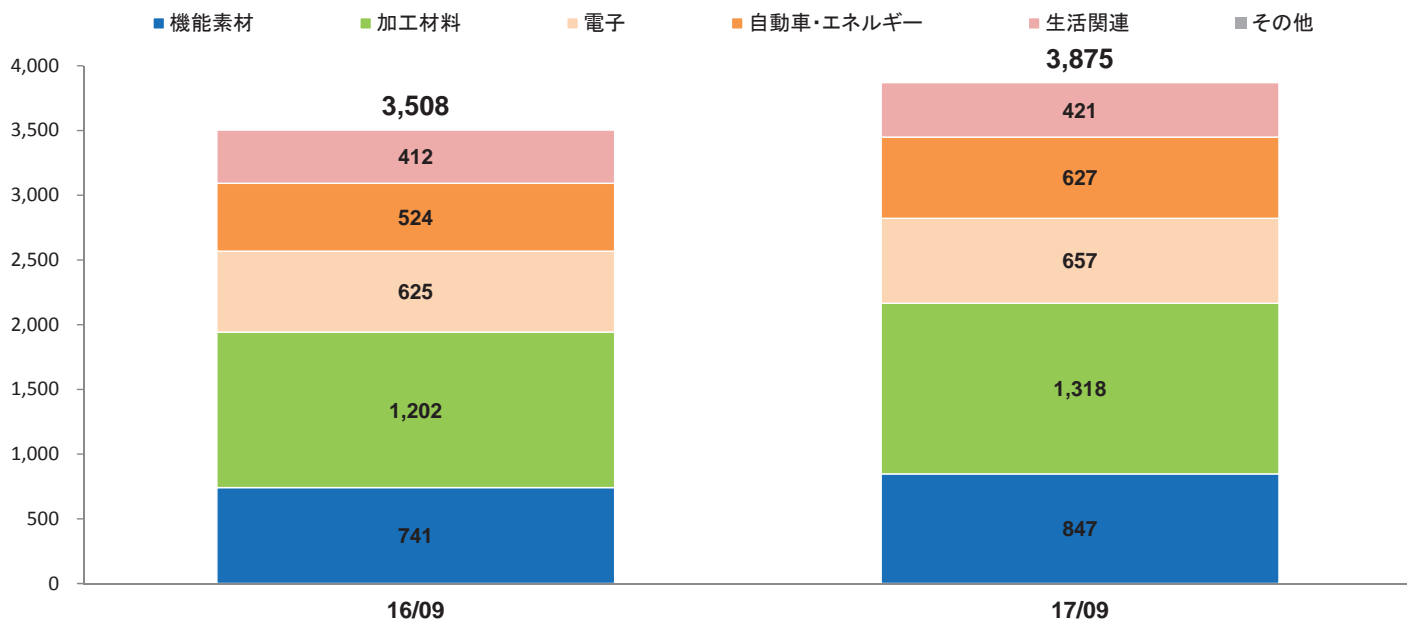
### ■国内ならびに海外の全地域において増収(海外売上比率50.3%)



## セグメント別売上高2期比較

- 機能素材：国内外における自動車生産台数の堅調な推移による塗料原料およびウレタン原料の売上、また加工油剤原料等の売上が増加し、更に米国のスペシャリティケミカル・ディストリビューター「Fitz Chem Corporation」を買収した影響等もあり、全体で増収
- 加工材料：国内外において合成樹脂等の売上が増加し、増収

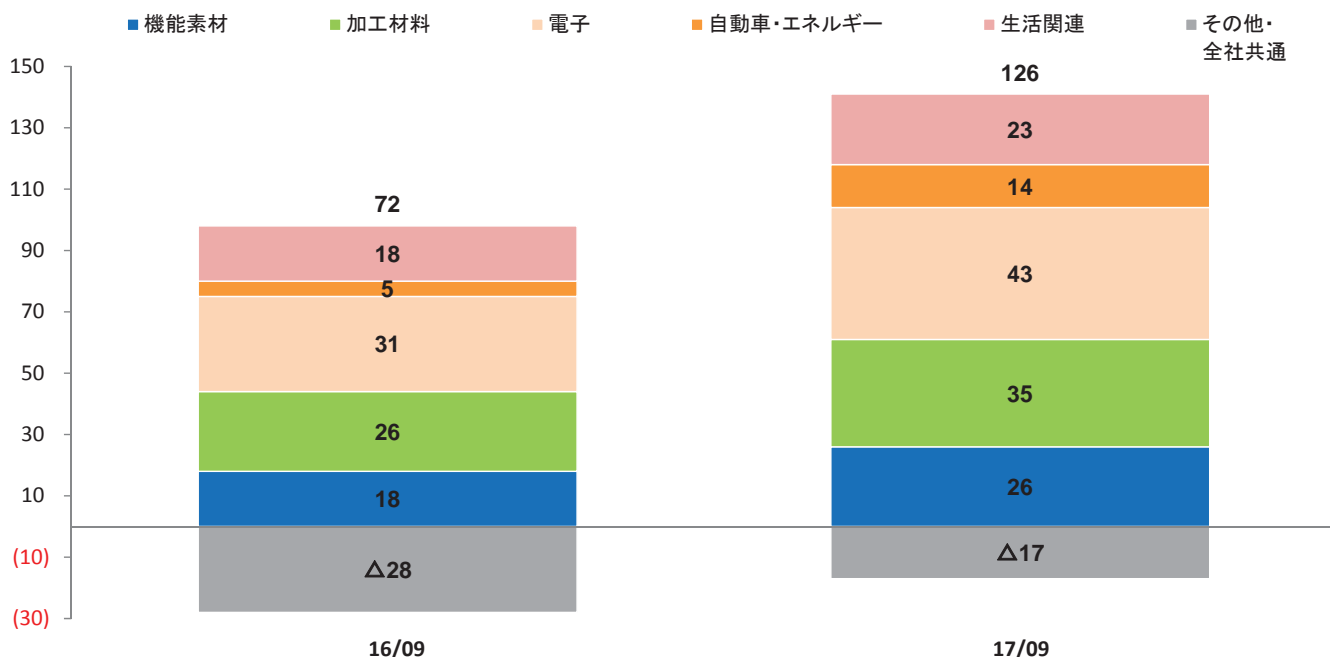
### セグメント別 売上高(億円)



## セグメント別営業利益2期比較

- 全セグメントが増収となったことに加え、電子および加工材料セグメントを中心とした製造子会社の増益等が寄与
- 上記に加え、主に全社共通セグメントの退職給付会計における数理計算上の差異の償却額が減少し、全体として53億円の増益

### セグメント別 営業利益(億円)



# 連結貸借対照表

■資産：売掛金・たな卸資産の増加および時価上昇による投資有価証券の増加等により、486億円増加

■純資産：親会社株主に帰属する四半期純利益87億円の計上のほか、その他有価証券評価差額金の増加等により、139億円増加

■自己資本比率は、2.2ポイント減少し、52.5%

資産				負債及び純資産			
	17/03	17/09	増減額		17/03	17/09	増減額
<b>流動資産</b>	<b>3,212</b>	<b>3,577</b>	<b>+365</b>	<b>流動負債</b>	<b>1,664</b>	<b>1,912</b>	<b>+247</b>
現金・預金	398	442	+43	支払手形・買掛金	1,020	1,195	+174
受取手形・売掛金	2,068	2,315	+247	短期借入金、1年内償還予定の社債	416	473	+56
たな卸資産	631	708	+77	その他	227	244	+16
その他	114	110	△3	<b>固定負債</b>	<b>690</b>	<b>790</b>	<b>+99</b>
<b>固定資産</b>	<b>2,095</b>	<b>2,217</b>	<b>+121</b>	長期借入金、社債	400	464	+63
有形固定資産	676	684	+8	退職給付に係る負債	146	145	△1
無形固定資産	407	434	+27	その他(繰延税金負債等)	143	180	+36
投資・その他の資産合計	1,011	1,098	+86	<b>負債合計</b>	<b>2,355</b>	<b>2,702</b>	<b>+347</b>
投資有価証券	945	1,034	+89	<b>純資産</b>	<b>2,951</b>	<b>3,091</b>	<b>+139</b>
その他	66	63	△3	株主資本	2,396	2,458	+61
				その他の包括利益累計額	505	582	+76
				その他有価証券評価差額金	476	538	+61
				為替換算調整勘定	31	45	+14
				その他	△2	△1	+1
				非支配株主持分	49	51	+1
<b>資産合計</b>	<b>5,307</b>	<b>5,794</b>	<b>+486</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>5,307</b>	<b>5,794</b>	<b>+486</b>

# 連結キャッシュ・フロー

■営業CF+65億円(税引前利益+130億円等)、投資CF▲102億円(連結の範囲の変更を伴う子会社株式取得 ▲60億円等)、財務CF+73億円(借入金収支+132億円、社債の償還▲100億円等)に換算差額影響等を加味した結果、全体として40億円の資金の増加

## キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)

	17/09	主な内訳	16/09
営業活動によるキャッシュ・フロー	65	税引前利益 +130 減価償却費・のれん償却 +54 運転資金 ▲117 法人税等 ▲25	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲102	有形固定資産の取得による支出 ▲34 無形固定資産の取得による支出 ▲1 投資有価証券の取得による支出 ▲3 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 ▲60	▲52
財務活動によるキャッシュ・フロー	73	短期借入金の純増減額(▲は減少) +90 コマーシャル・ペーパーの純増減額(▲は減少) +70 長期借入金収支 +41 社債の償還による支出 ▲100 配当金の支払 ▲21	▲23
現金および現金同等物に係る換算差額	4		▲20
現金および現金同等物の増加額(▲減少額)	40		▲48
現金および現金同等物の期首残高	397	日本 254、グレーターチャイナ70、アセアン 35、欧州 18、米州 5、その他 13	429
現金および現金同等物の四半期末残高	438	日本 262、グレーターチャイナ 77、アセアン 44、欧州 23、米州 11、その他 13	380

**売上高・各利益ともに、過去最高を更新する見通し**

■売上高：一部事業で減速を見込むものの、全体的に上期に引き続き好調に推移し、通期で増収

■営業利益：増収による増益に加え、退職給付会計における数理計算上の差異の償却額が3億円(前期比損益影響額+28億円)となることから増益

(単位:億円)

	17/03	18/03			
	実績(A)	期初見通し(B)	修正見通し(C)	増減額 (C-A)	前期比 (C/A)
売上高	7,223	7,320	7,710	+486	107%
営業利益	150	191	235	+84	156%
経常利益	163	209	255	+91	156%
親会社株主に帰属する 当期純利益	103	125	160	+56	155%
US\$レート (期中平均)	@108.4	@108.0	@111.0	2.7円安	—
RMBレート (期中平均)	@16.1	@15.6	@16.4	0.3円安	—